

ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で地球温暖化が要因とみられる気候変動の進行により、自然災害が頻繁化、激甚化しております。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に共有され、2018年にはIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までにCO₂の実質排出量をゼロにすることが必要」とされました。

また、令和2年10月、政府が2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指すことを表明しました。

本町においても、第6次鱒ヶ沢町長期総合計画の中で「森里川海のつながりが生み出す脱炭素・循環型社会のまち」実現を掲げており、良好な風況や太陽光など、再生可能エネルギーの活用を推進し、町民・事業者・行政との協働による地球温暖化対策に取り組み、「2050年までに、二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すことを宣言いたします。

令和6年2月22日

鱒ヶ沢町長

平田 衛